岩手県立久慈工業高等学校　校報

久慈工魂（スピリッツ）

生徒の輝く姿が見える楽しい学校

No.17 令和４年 12 月 22 日（木）

講座「地域未来学」の第５回及び第６回は、地域産業を理解するための講義です。学科ごとに、県北ものづくり産業ネットワークと岩手県建設業協会久慈支部から講師を派遣していただいて、講座を実施します。

修学旅行

２学年の修学旅行は、京都・奈良・大阪など関西方面を旅行先として、12 月 10 日から４泊５日の日程で実施しました。第２日目の京都市内自主研修では、班別に計画したコースにしたがって晩秋の古都京都を巡り、生徒の心に深く残る有意義な活動となりました。旅行期間中の主な行程は、下記のとおりです。

第１日　学校 ― 新大阪駅 ― ＲＥＤＥＥ ― 大阪泊
第２日　宿舎 ― 金閣寺 ― 清水寺 ― 京都市内（班別自主研修）― 大阪泊
第３日　宿舎 ― 薬師寺 ― 奈良公園（南大門・東大寺）― 大阪城散策 ― 大阪泊
第４日　宿舎 ― ユニバーサル・スタジオ・ジャパン ― 大阪泊
第５日　宿舎 ― 新大阪駅 ― 学校

建設環境科２年中村透吾君は、「多くの場所を訪れて、歴史的建造物を間近に感じたり、ガイドさんの説明を聞いたりして感動しました。今後も、新しい文化に触れていきたいです。」と感想を述べていました。

大阪大学シンポジウム

大阪大学大学院人間科学研究科が、大阪市中央公会堂で 12 月４日に開催したシンポジウムに、電子機械科３年玉川裕貴君と建設環境科３年山形一真君が、パネリストとして参加しました。「住み続けられるまちづくり－大災害の時代」をテーマとするディスカッションでは、東日本大震災の体験や技術者となる決意、地域貢献への思いなどについて発表してきました。

講座：地域未来学

第５回講座の講師は、地元企業の株式会社下舘建設の下舘康尋代表取締役専務です。講義のテーマは、「現在の建設業と未来について」でした。

東日本大震災において、地域建設業が果たした道路啓開をはじめとした人命救助、救援、復旧などの重要な役割や、地形・構造物の立体的なデータを上空から取得するため、ドローンを活用した３次元測量等について説明していただきました。